

木下理事長様

平成29年度第2回広報部会報告

H30.1.11

広報 部長
黒川 正道

過日、広報部会を開催しました。規約に基づき、下記の通り報告いたします。

記

日 時：平成30年1月6日（土）PM6：30～ 金沢市内

参加者：黒川、道越、長田、太田、山田、山本、堀、佐々木、計8人。

部長挨拶

昨年も、皆さんのお陰で、広報部活動は順調にきたと思っています。ありがとうございます。今日は、日ごろの皆さんのご活躍を含め、来年度の活動の在り方等意見交換よろしくお願ひします。

HPは見栄えはともかく、更新数（1月から12月）は依然として、断トツの一番です。2位の埼玉の122件の3倍強393件（前年436件）他の26県連で100件を超えているのは3県だけです。このほかに70年史の関係が289件で、計682件の更新をこの一年間（1-12月）行いました。

昨年度に実施した稼働調査結果では、メールチェックを含めると年間約1000時間、HP更新関係の時間でいうと約250時間と言う結果が出ました。一人平均40時間/年間、3～4時間/月の稼働が掛かっています。（H23年度以前の3倍の更新件数・稼働時間になっていると推定できる）これには70年史分はカウントされていません。

70年史のHPの関係の投稿の最後に

『これまでは、広報部が立案し、常任理事会で議論されて各種企画を実行してきたが、これからは、各専門部、加盟団体等各ページの担当のところ、個別に充実策を考え、記事を自主的に投稿するステップに入った。また、初期からのメンバーの交代も意識した、継続的な育成及びHP内容検討による維持稼働の軽減が、今後の大きな課題となる。』

と記載しましたが、HPの拡大基調は終了し、取捨選択の時期に入った。今年度「広報活動は今まで弓道石川を柱にやってきて、今後もそのようにやっていく」との常任理事会での理事長発言もあり、これまでは時代の流れからHPを柱にしていくのだと受け止めて、HPは企画拡張基調でしたが、これまで会長提案を具現化してきたとはいえ、賛同を中々得られない状況の中で、少しやり過ぎだったかも知れません。

これからは、精査して、シンプルにしていく（削減）方向の時期だと感じました。いずれにしても、今後を考えると私しかできない部分はなくしていかなければなりません。当面は少なくともHPは担当していきますが、将来を見据えた活動をしていかなければならない時期に差し掛かっていると感じています。

また、弓道石川メンバーは参加していただけていませんが、会長・理事長の指示で動いていますので、来年度に向けては、担当の方に聞きますが、これまで通りの発行として、会長・理事長のご意見を伺うのかなと思っています。

本年度のこれまでの活動の状況を踏まえて、来年度に向けた意見交換をお願いします。

1、HP 関係の状況情報共有と今後の課題等

(1)アクセス数の推移

(目標：200アクセス/日の維持を目指す。)(現時点で新企画の予定がないので現状維持)

- ・ 12. 3 : 開設6000日目、累積511,600カウント (累積平均85カウント/日)
- ・ 11. 25 : 510,000カウント (47日間で1万カウント=213カウント/日)
- ・ 10. 9 : 500,000カウント (45日間で1万カウント=222カウント/日)
- ・ 8. 25 : 490,000カウント (48日間で1万カウント=208カウント/日)
- ・ 7. 8 : 480,000カウント (47日間で1万カウント=213カウント/日)
- ・ 5. 22 : 470,000カウント (42日間で1万カウント=238カウント/日・過去最短)
- ・ 4. 10 : 460,000カウント (53日間で1万カウント=189カウント/日)
- ・ 2. 16 : 450,000カウント (67日間で1万カウント=149カウント/日)
- ・ 1. 21 : 「安全に関する事項」をお知らせから独立させ、トップページからリンクを張った(事務局メニュー配下)。新年度に入って、一日200カウントはほぼ超えている感じがします。更新件数が増えたので、毎日ちらっとみる人が増えている可能性が高い。ただ、大会等が一段落する12月以降は、110カウント/日程度に落ち込みますので、100人位の人が年間を通じてみていただいて、あとは、時々関心があるときに覗きに来るという感じだと思います。

(2)会員専用ページのアクセス数の推移

- ・ 11. 30 : 「70年史投稿進捗管理ページ」延べ372件の記事アップをもって終了、機能停止
- ・ 11. 3 : 10,000カウント (67日間で千カウント=15カウント/日)
- ・ 8. 28 : 9,000カウント (119日間で千カウント=8カウント/日)
- ・ 7. 18 : 「大会速報用掲示板」年度更新(過去表示のページ数が一杯(となったため))
- ・ 5. 28 : 会員専用ページ開設1000日目、累積8,400カウント (累積平均8カウント/日)
- ・ 5. 1 : 8,000カウント (65日間で千カウント=15カウント/日)
- ・ 4. 5 : 「ホームページ管理責任者用ページ」新設
- ・ 3. 19 : ホームページVer19.1UP
- ・ 2. 25 : 7,000カウント (70日間で千カウント=14カウント/日)
- ・ 1. 1 : 「大会速報用掲示板」のカウンターが1000カウント

(4)これまでの主な改善事項等

- ・ 4. 5 : 「ホームページ管理責任者用ページ」開設
- ・ 3. 19 : ホームページVer19.1UP

会員専用ページ

- ・ 8. 27 : 「資格期限情報ページ」を「周知」ボタン配下に新設。それに伴い「動画」ページを「投稿」ボタン配下に移設
- ・ 4. 15 : 「評議員会・理事会ページ」を「周知」ボタン配下に新設

(5)課題等

(ア) ホームページの各ページの責任者を明示して、時々チェックしてもらって、投稿頂く体制にしたが、現時点その効果は表れていないように見える。⇒常任理事会で注意喚起する。

(イ) 常任理事のリレー投稿も投稿が苦戦しているようなので、28年度いっぱいはやめましょうかと提案したが、会長の意向で継続が決まった。⇒その後も昨年度分を含め、投稿が滞り気味なので、

再度提案する。

(ウ) トップページ予定一覧で、予定日当日夜になったら、気が付いたら消してください。

top_main.html ファイルです。(シンプルにするためにはやめるのも一案かなと思っています)

(エ) 新着情報更新時に「New」マークを概ね 10 日たったものは消してください。

(オ) HP ビルダーのバージョンの古いのは不都合があるか⇒あれば購入依頼をする。

(カ) 来年度の HP の担当の調整は、また長田さんをお願いします。稼働調査結果も参考に。

(キ) スマホ向け縦メニューは、引き続きくじけています。会員専用ページのメニューの感じでいいと
ことですが、項目数が多いので、メニューを縦にプルダウンするタイプで横方向にどう並べる
か全くアイデアがわかりません。

2、実技編

・太田さんに仕掛けて頂きますが、当面、県連のスケジュールが林立のため今年度困難か？

⇒やれば好評なので、早期に、全員のスケジュールが合わなくても適宜集まって実施する方向とする。

3、弓道石川・弓道誌投稿関係

○弓道石川：現状どおり？

○弓道誌：冬場の記事が少なくなる以外、特に問題はない。

4、意見交換の内容

- ・HP のトップページが重いという声があるので、行事日程・連絡員情報などを削除したらどうか
⇒その方向で動く
- ・その他にも、ほとんど投稿のないものなども一旦項目削除して、必要に応じて開設するのが良いのではないか⇒当初は、あれもこれもと項目建てをして、投稿を依頼してきたが、今年度から各ページに管理責任者を設けて、その方々に内容の充実をお願いしてきたが、ほとんど機能していないので、投稿のないものは、いったん削除してシンプルにしていく方向で動く。必要に応じ逐次、開設する。
- ・常任理事の投稿は、昨年やめる提案をして継続となったが、中々投稿が滞っているため、今年もやめる提案をもう一度してみることにする。
- ・専門部等で、一年たっても、昨年度の報告と今年度の計画を投稿していただけないところがある。これは、責任者が全く見ておられないのだと思われる。毎回、常任理事会に報告しても改善されない。
⇒各専門部のページも報告と計画を一覧にして、各専門部のページをなくする方法もある。
- ・遠の大会視察時の動画を試しにアップしたがこれからもそういう使い方をしたらいいのではないか
⇒サーバーは300GB あるので、ちょっとした動画ではびくともしないので活用したら良い。
- ・県連主催の大会で、広報部に写真を撮るように言われる⇒県連主催のものであっても、広報部員としては取材活動しない。記事報告担当のところは責任をもって、写真含めて取材するように申し入れます。(これは、黒川が広報部長になるときに水橋会長と引き継ぎ申し合わせた内容に基づいている。広報部が取材し、記事を作成するというのを始めると、ただでさえ手のない広報部員がいなくなつて常任理事メンバーでさえ記事を書くのが滞っているから推して知るべしだと思っている)、広報部 HP・弓道石川の維持ができなくなるとの考えであるので、これは今後とも変えてはならないと黒川は考えている。)ただ、広報部員としてではなく、他の部にダブル所属している場合はその所属の部員として取材活動するのはその専門部等の活動であるので、その時は対応して頂きたい。

以上